

プロダクトデザイン学科に入学されるみなさんへ

みなさん、合格おめでとうございます。

プロダクトデザイン学科では、入学してすぐ1年次前期より、グラフィックデザイン系のソフトウェア（Adobe Photoshop /Illustrator）、を使用した授業が行われます。また、1年次後期以降からは、プレ専攻として選択する課題により、3DCG のソフトウェア（Rhinoceous）、Photoshop/Illustrator（応用）、エディトリアルデザインのソフトウェア（Adobe InDesign）、CAD のソフトウェア（Vectorworks）を使用した授業が行われます。それ以外の授業でも、リサーチやプレゼンテーション、レポート作成などさまざまな場面でパソコンを頻繁に使用することがあります。また、パソコンで遠隔授業を受けることもあります。

以上の理由から、プロダクトデザイン学科ではノートパソコンを所持していくことになります。

また、すでにノートパソコンを持っている人は当面それを使っていたくのも大丈夫です。

● 入学前にノートパソコンの準備をお願いします。

基本的には、1年次前期においては、Adobe の Photoshop/Illustrator といったソフトウェアが使えることが前提となりますが、プロダクトデザイン学科での学べき範囲は専攻ごとに、学ぶ範囲（下記参照）が広いため、専攻によって、パソコンを使用した必要とするスキルも違ってきます。そのため、専攻によって、推奨しているパソコンが違いますので、入学後、2 年次からの希望専攻によって、準備するパソコンをご検討ください。

専攻における学びの概要

インダストリアルデザイン（ID）専攻

身近な日用品をはじめ、家電や乗り物など、生活や社会を支えるさまざまな工業製品を生み出し、明るい未来をつくる工業デザイナーを、めざします。

ライフクリエイション（LC）専攻

インテリア、家具、生活雑貨など、「暮らしを豊かにするもの」のデザインに取り組みます。

ファッションデザイン（FD）専攻

服作りの技術に加えて、ニーズを分析・調査するための知識、雑誌や web プロモーションを行う方法などを学びながら、誰かの課題を解決するファッションのあり方を研究します。

入学後、2 年次以降の希望する専攻を決めている場合、

インダストリアルデザイン（ID）専攻を希望：推奨パソコン→Windows

ライフクリエイション（LC）専攻を希望：推奨パソコン→Mac

ファッションデザイン（FD）専攻を希望：推奨パソコン→Mac、Windows どちらでも良い。

入学後、2 年次以降の希望専攻を決めていない場合、

インダストリアルデザイン（ID）専攻 か ライフクリエイション（LC）専攻を希望：推奨パソコン→Windows

ライフクリエイション（LC）専攻 か ファッションデザイン（FD）専攻を希望：推奨パソコン→Mac

ファッションデザイン（FD）専攻 か インダストリアルデザイン（ID）専攻を希望：推奨パソコン→Windows

2 年次以降の希望専攻が 3 専攻どれも絞りきれていない：推奨パソコン→Windows

専攻で推奨しているパソコンと違ったとしても、問題ありませんが、専攻でのソフトウェアスキルの授業において、操作方法の違いなどが生じることがあります。本文最初の説明の通り、すでにノートパソコンを持っている人は当面それを使っていたくのも大丈夫です。パソコンを新たに購入予定の方におきましては、パソコンの推奨スペックについての、資料を参照いただいて、購入の参考としてください。

本件でご相談の方は、下記アドレスまでメールにてお問い合わせください。

プロダクトデザイン学科 PD センター：pdcenter@kyoto-seika.ac.jp

Windows 推奨スペック【参考】

	推奨	最小	備考
OS	Windows 10 64bit Windows 11		Windows 10 32bit 版、 Windows 8.1 以前 は不可
CPU	Intel Core i7,Corei9 AMD Ryzen7,Ryzen9	Corei5 Ryzen5	Intel 第 10 世代以降を推奨 AMD 第 3 世代以降
メモリ (RAM)	32GB 以上	16GB 以上	後日、必要に応じて外部ストレージなどで追加。
内部ストレージ	512GB 以上	256GB 以上	14 インチ以上のサイズを推奨
モニタ解像度	1920×1080 (フル HD 以上)	1920×1080 (フル HD 以上)	
GPU	nVidia GeForce RTX シリーズ nVidia Quadro シリーズ	nVidia GeForce GTX1650 以上 Intel Iris Plus, Iris Xe	AMD 製 GPU (Radeon 等) は、 未検証のため現状では非推奨

- すべてを最少の構成で選択すると、ストレスを感じる制作環境となる可能性があります。余裕を持って選択してください。
- 「クリエイター向け」「ゲーム PC」などとうたわれている機種から選択することになるでしょう。
- 遠距離通学をされる方、体力に自信のない方は、重さにも注意してください。2 kg を切る機種をお勧めします。
一般に「ゲーム PC」は冷却性能を重視して重くなる傾向にあるようです。
- モニタ（画面）は大きさではなく、解像度を気にしてください。とはいえ、あまり小さいと覗き込むような姿勢になり、早く疲労しますので、重さも考慮しながら、大きいものを選ぶと良いでしょう。
- Microsoft Surface のようないわゆるタブレット PC は、画面に直接手書きができる点が魅力的ですが、メインとして使える性能のものは高価になり、それでもまだ通常のノートタイプに見劣りします。2 台目としてなら構いませんが、それ一台だけという環境はお勧めしません。

Mac 推奨スペック【参考】

MacBook Air (13 インチ M4 チップ)



10 コア CPU
8 コア GPU
16GB ユニファイドメモリ
256GB SSD ストレージ
16 コア Neural Engine
True Tone 搭載 13.6 インチ Liquid Retina ディスプレイ
30W USB-C 電源アダプタ
Thunderbolt 4 ポート x 2
149,800 円 (税込)

MacBook Pro (14 インチ M5 チップ)



10 コア CPU
10 コア GPU
16GB ユニファイドメモリ
512GB SSD ストレージ
16 コア Neural Engine
14 インチ Liquid Retina XDR ディスプレイ
Thunderbolt 4 ポート x 3、HDMI ポート、SDXC カードスロット、
ヘッドフォンジャック、MagSafe 3 ポート
233,800 円 (税込)

「MacBookPro 14 インチ」のモデルを推奨いたします。もうひとつ、「Apple Mac BookAir 13 インチ」をご案内します。画面は少し小さくなり、複雑な 3DCG データや長い映像データなどを取り扱うには、物足りなさがありますが、価格的には安価です。MacBook Air には 15 インチ (M4 チップ) モデルもありますのでご検討ください。Apple 製品の購入は下記、Apple「学生・教職員向けストア」からログインいただき、お求めやご相談ください。価格も安く購入できますし、分からない点につきましては電話で丁寧に回答していただけます。
<https://www.apple.com/jp/shop/education-pricing>

Apple コンピュータでは「Apple Care」という保証プログラムを用意しています。これは修理サービスとテクニカルサービスが受けられプログラムです。コンピュータに不慣れな学生さんは、学生生活の間に故障や破損を経験する方が多いように見受けていますので、加入をお勧めします (任意)。
<https://www.apple.com/jp/support/products/mac/>

Windows、Mac 共にソフトウェア (Adobe CreativeCloud、Office 365) のライセンスは在学中の 4 年間、大学から支給しますので、購入いただく必要はありません。※インダストリアルデザイン (ID) 専攻では、Rhino (3DCAD ソフト) の購入 (教育版 39,600 円 [税込]) が必要となりますが、1 年次前期に購入の必要はありません。前期実技授業終了時のミーティングで、説明します。